

1 教室環境チェック (改善されていると思う項目に○)

担任 (齋藤 比呂子)



教室環境改善

1 基本的な清掃と整理整頓がされているか?	○
2 安全への配慮がされているか?	○
3 感覚刺激への配慮がされスッキリしているか?	▲
4 学級や授業で大切にしていることが見て分かるか?	○
5 生活や学習の見通しや動線が見て分かるか?	○
6 必要な学習の成果や掲示が適宜されているか?	○
7 掲示の場所や方法にルールはあるか?	▲

2 学級の実態

- ・1日の活動予定だけでなく、1週間分の予定を知らせた方が、活動への見通しをもって、落ち着いて生活することができる。
- ・突然の予定変更があっても、目の前で、予定の板書を朱書き訂正したり、活動写真の順番を入れ替えたりすることで、臨機応変に対応することができるようになってきた。
- ・基本的な生活習慣は身に付きつつあるが、整理整頓や姿勢、衣服の始末などについては、教師からの言葉での支援を要することが多い。



3 特に工夫している部分・黒板に、活動予定表や生活におけるポイントを記した写真を掲示し、学習活動、生活面で見通しをもてるよう配慮している。

4 改善の経緯

(1) 6月頃の教室環境とその頃の児童生徒の様子

- ・一人でできることが増え、板書や活動の写真カードを見て行動することができた。
- ・学習場面では、集中する時間が短く、姿勢が崩れたり、周囲に気を取られたりすることもあった。



改善のポイント!!

- ・活動の変更や特に気を付けることなどを朱書きで記入することで、より注意喚起を促すようにした。
- ・学習場面で継続して指導している、正しい姿勢や鉛筆の持ち方の写真を、拡大して教室の壁前面に掲示するようにした。
- ・朝の荷物の整理は、動線を考えて配置した。



(2) 12月現在の教室環境とその頃の児童生徒の様子

- ・学校での生活リズムが整い、1日の活動の流れや各教科・領域の学習に見通しをもって取り組むことができるようになってきた。
- ・生活や学習場面で使用する物の準備は比較的素早く行うが、後片付けは丁寧さに欠けることがある。

今後の改善などについて

- ・カレンダーを活用しながら、毎月の行事予定を確認し、より長いスパンで活動の見通しがもてる工夫をしていく。
- ・教室の壁や掲示物を再度見直し、必要な物と不必要になった物を選別し、シンプルで分かりやすい掲示方法を考える。
- ・学習で使用する道具やプリント類を自分で整理できるよう、ロッカーや引き出しの活用の仕方を考える。

